



銀座の言語景観7

日本大学文理学部国文学科
日本語学基礎演習2

- はじめに
- 銀座の百貨店における外国人観光客への取り組み
- 銀座オフィシャル掲載の飲食店における言語表示の実態
- 料理店のジャンルごとの言語景観の違い
- 各地域のマツモトキヨシにおける言語景観の違いから銀座のあり方を考える
- 銀座周辺のデパートにおけるピクトグラムについて
- 銀座百貨店のレストラン街における言語景観の比較

第5章 各地域のマツモトキヨシにおける言語景観の違いから銀座のあり方を考える

0316068 坂本真友子
0316088 松川瑞季
0316129 西村陽貴

PDF 調査マニュアル&チェックシート (PDF)

5.1.調査概要

銀座、有楽町、調査員の居住区エリアのマツモトキヨシの言語景観の差を調べ、チェーン店ならではの取り組みから銀座のあり方を調査する。対象店舗は以下7店舗で各人5店舗とした。

対象店舗一覧

店舗名	住所	担当調査員
銀座5th店	中央区銀座5-5-1	坂本・松川・西村
銀座8丁目店	中央区銀座8-12-10	坂本・松川・西村
銀座中央通り店	中央区銀座8-8-5	坂本・松川・西村
有楽町イトシアプラザ店	千代田区有楽町2-7-1	坂本・松川・西村
新宿東口店	新宿区新宿3-22-6	坂本
西東京泉町店	西東京市泉町4-3-4	松川
下高井戸駅西口店	世田谷区赤堤4-46-9	西村

5.2.調査項目

調査対象店舗の臨時的掲示物（商品、その他）、音声言語の3点を調査する。調査場所は店内全域とした。

5.3.商品の臨時的掲示物から考察する行政区毎の外国人の分析（坂本真友子）

5.4.マツモトキヨシの臨時的掲示物の言語表記から考える訪日外国人が訪れる理由(松川瑞季)

5.5.域差から見る音声言語の差（西村陽貴）

5.6.全体のまとめ

マツモトキヨシはチェーン店ということもあり、各地域に密着した業務体系なのではないかと推察される。

上記から、銀座は訪日外国人を主にターゲットとしたサービスを行っていることが分かる。これらのことから銀座は外国人からの収入をほかの地域より得ているのではないかと考察する。

引用・参考文献リスト

観光庁ホームページ

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/>

法務省ホームページ

<http://www.moj.go.jp/>

銀座

<https://pocket-concierge.jp/blog/nihonbashi-featured/>

有楽町

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9C%89%E6%A5%BD%E7%94%BA>

下高井戸

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%8B%E9%AB%98%E4%BA%95%E6%88%B8>